

令和4年度第2回社会福祉法人指導連絡会

令和5年1月31日(火)

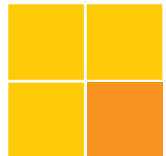
大田区 福祉人材育成・交流センター の取組について



も く じ

- 1 設置の背景と経過
- 2 センターの概要
- 3 事業内容の紹介
- 4 今後の展望





1 設置の背景と経過



地域共生社会の実現に向けた福祉人材の育成

包括的な相談支援の実施(相談の受止め・つなぎ)

複合課題のある区民に対する多機関・多職種連携支援の推進

地域住民同士のつながりの強化、支え合いの意識の醸成

重層的支援体制整備
事業の推進に向けた
人材育成

福祉サービスの維持・向上に向けた人材の確保・定着

慢性的な人材不足に対する、すそ野を広げた多様な人材の確保

区内福祉分野で働く魅力の向上

安心して働き続けることのできる基盤整備



有識者懇談会の実施

必要な機能の検討

センターの対象者、役割の検討

優先的に取り組み事業の検討

区内福祉従事者への実態・ニーズ調査

支援対象分野やサービス提供種別

人材の確保・育成・定着ごと

} 実態とニーズの聞き取り





2 センターの概要

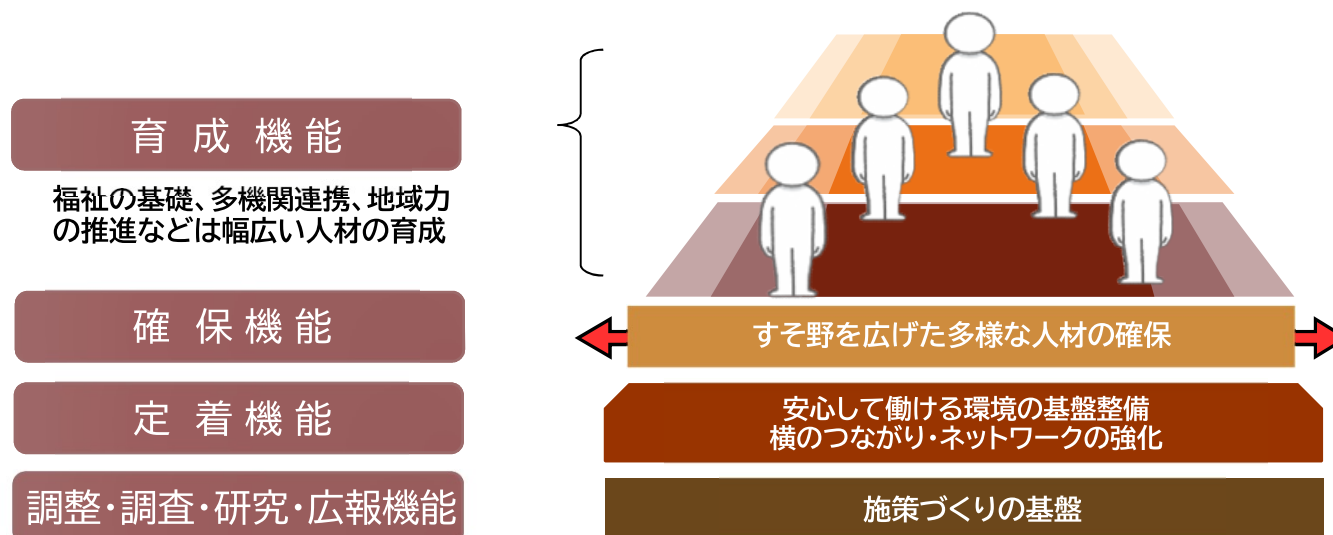


2 大田区福祉人材育成・交流センターの概要

設置目的

社会情勢や福祉課題の変化に対応し、区民ニーズに合った福祉サービスを提供できるよう福祉人材の**育成と確保**を図り、大田区地域福祉計画に基づく**大田区版「地域共生社会の実現」に寄与していくこと**を目的に設置する。

持つべき機能



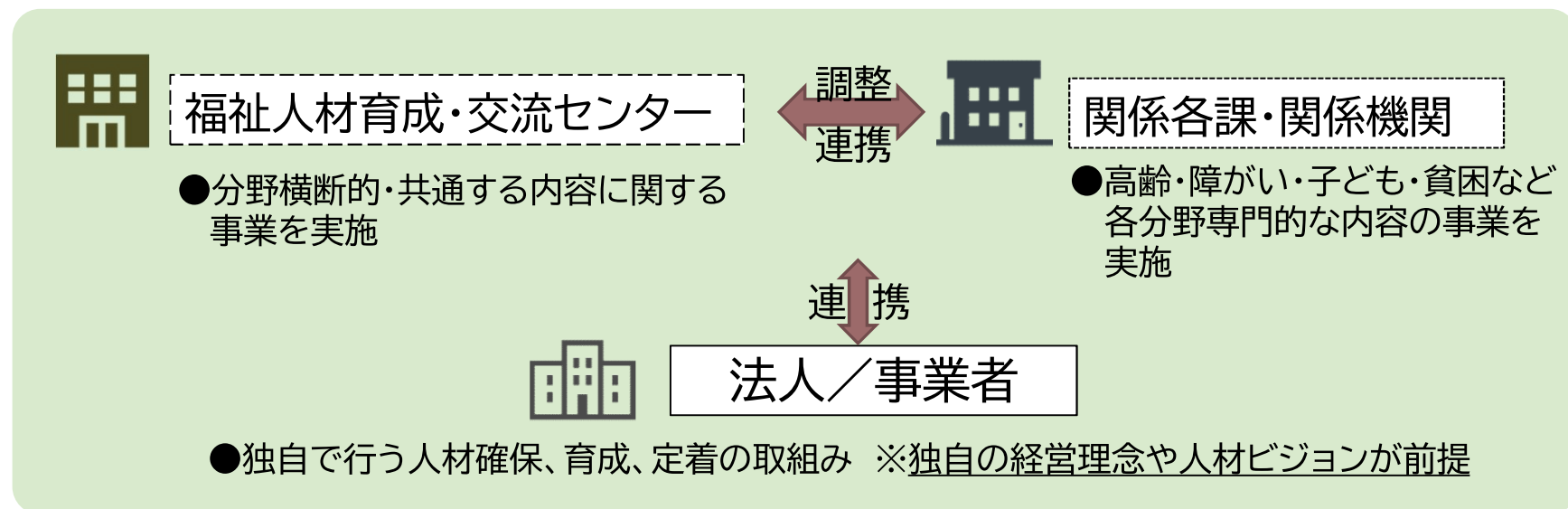
2 大田区福祉人材育成・交流センターの概要

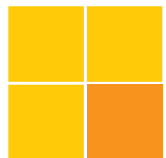
対象者

大田区内で働く福祉の専門職人材(区職員を含む)

役割

区内福祉従事者の皆様が、サービス種別や職種、支援分野など様々な垣根を越えて交流し、共に学び、共に高め合うことを支援し、福祉従事者全体の支援の質の向上を目指すための推進役となります。





3 事業内容の紹介



3 実施事業内容の紹介

育成機能

複合課題対応研修

住宅確保要配慮者対応研修 ～住宅と福祉の連携～

事例検討を通してつながる多機関・多職種連携研修

権利擁護支援研修

主催 大田区居住支援協議会
大田区福祉人材育成・交流センター

事前
申込制

参加
無料

定員
50名

住宅確保要配慮者対応研修

～住宅と福祉の連携～

日時 令和5年 1月13日(金)
14時～17時 (13時30分受付開始)

会場 蒲田地域庁舎 大会議室(5階)
※新型コロナウイルスの影響で、変更が変更となる場合がございます。

講師

①「なぜ高齢者等は入居を拒まれるのか～賃貸市場の現状と居住支援～」
ホームネット株式会社 居住支援課 横田 聖 氏
(東京都指定居住支援法人)

②「住宅確保要配慮者への支援事例の紹介」
社会福祉法人市川福祉会(生活支援科) 田中 由 氏

③「地域での相談の受け止めと連携支援」
社会福祉法人大田区社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター 武藤 漢一 氏

④グループディスカッション(各支援機関の役割、居住支援における多機関連携)

⑤パネルディスカッション
・ホームネット株式会社 居住支援課 横田 氏
・社会福祉法人市川福祉会 田中 氏
・市民福祉団体全協協議会 中野 真弓 氏
・市民福祉団体全協協議会 横田 洋子 氏

対象者 住宅確保要配慮者の支援を行う区や関係機関の職員

住宅確保要配慮者とは……
高齢者、障がい者、ひとり親、生活保護受給者、外国籍住民世帯で特に居住(住まい探し、見守り等)に関して配慮を要する方のこと

主催 大田区居住支援協議会 大田区福祉人材育成・交流センター
お問合せ 大田区 福祉部 福祉政策課 調整担当 TEL:03-5744-1721



3 実施事業内容の紹介

育成機能

福祉人材コミュニケーションスキル向上研修

アサーティブコミュニケーション、プレゼンテーション、ファシリテーション

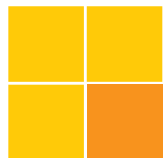
福祉事業所における人材育成支援



eラーニング研修システムの導入および研修コンテンツの整備

- ▶社会人としての基盤研修(コミュニケーション、チームワークなど)
- ▶福祉の基礎研修(人権の基礎・ソーシャルワーク・個別支援の展開過程など)





4 今後の展望



区内福祉従事者との連携・協働の強化

研修会・交流会の企画・運営への参加協力

研修講師としての参加 ▶▶▶▶ 豊富な経験と知識を有する区内福祉従事者の協力

各種連絡会・ネットワーク会議等との連携、コラボレーション企画

確保機能(人材確保事業)の強化

ふくしのしごと市など就職相談会・面接会の充実 など…



ご清聴ありがとうございました。

今後も協力・連携、よろしくお願いいたします。

